

## 第12回 環境振動評価小委員会 議事録（案）

A. 日 時 2011年11月4日 金曜日 17:30～19:30

B. 場 所 建築会館 会議室

C. 出席者 益田主査、他5名

D. 提出資料（提出委員名敬称略）

No. 12-0 第11回環境振動評価小委員会議事録（案）

No. 12-1 環境振動評価小委員会 平成23年度まとめの叩き台案

No. 12-2 広域モニタリングWG参加報告（案）

No. 12-3 第7回居住性能評価指針検討WG 議事メモ

No. 12-4 環境評価指針と振動設計指針、振動設計法の比較

No. 12-5 環境振動性能評価小委員会【説明性WT】

No. 12-6 環境振動性能評価小委員会【説明性WT】議事録

E. 議事内容

1. 議事録確認（資料12-0）

◇ 以下修正

→ ×：1行目 第10回 環境振動評価小委員会 議事録（案）

→ ○：1行目 第11回 環境振動評価小委員会 議事録（案）

2. 議論

1) 資料No. 12-1 平成23年度まとめの叩き台案について説明

◇ 1年間で進めてきたことの概要

→ ワーキングチームのリーダーを中心に「要望と提案」を行う

→ 全体のまとめを主査・幹事で行う

→ 以上をまとめて次年度以降の討議・行動の種とする

◇ 次年度以降の計画

→ 討議内容の取りまとめ、シンポジウムの提案等を行う予定

2) 広域モニタリングWG参加報告（案）について説明

◇ 計測事例の「見える化」について

→ 計測手法の検討を行なっている、現状は加速度表記にて実測を行なっている

→ 地盤面の実測を行い、伝搬経路等は個別に評価を行うことが適切と考える

◇ 来年度までに計測手法のシミュレートを行ないたい

→ どのような計測を行えば何が出来るのか？ロードマップの提示を検討する

→ 最終的に評価を行うことを考慮し、検討を行う

→ 例：多点同時計測による評価等

3) 第7回居住性能評価指針検討WG 議事メモについて説明

◇ 評価の内容

- 歩行阻害・動揺病・作業阻害・不快・知覚等（生理反応は含めない）
- 精密作業阻害（半導体工場の場合など）では独自のクライテリアが既に設定されているのでは？

◇ 「作業」の範囲

- 一般住居やオフィスで行われる行為のみならず、工場や病院等で行われる行為も対象とする
- 病院の医療行為等を含める可能性があるのならば、溶接作業等の検討も行う必要があるのでは？
- 超高層建築物作業現場でのアンケート調査を行うのはどうか？

4) 環境評価指針と振動設計指針、振動設計法の比較について説明

◇ 評価指針と設計指針の差別化について

- 両者を併せて（内容は明確に独立させて）刊行する予定

5) 環境振動性能評価小委員会【説明性 WT】および同議事録案について説明

◇ 環境振動を表す指標について

- 振動数ごとに揺れの感じ方や表現の差が生まれる
- 物的事象および人体感覚の両表現の取り扱いを検討

◇ 範囲拡張について

- 長周期地震動や台風時に避難の目安を表すことはできないか？
- 知覚割合の意味を拡張した形で表現は可能か？

◇ 地震時・台風時の意識調査

- 本年度見舞われた大規模地震や台風における意識調査を行う
- 例：被災者と被災者以外、阪神大震災との比較等

3. 次回以降の課題

◇ 4つの WT にて活動を行い、その結果を小委員会にて報告を行うこと

- 各 WT ともに来年度末までの最終目標を検討
- これまでの活動内容のエッセンスをまとめて報告お願いいたします！

4. 次回開催予定

- ◇ 2012年2月20日（月）、17：30～ 本会会議室